

文人画家・田能村直入の書画4作品を市登録文化財に

枚方市は、令和6年3月1日付で、市が所蔵する田能村直入の書画4作品（「十六羅漢像」ほか3点）を「田能村直入関係資料（奥田家旧蔵）」として市の登録有形文化財に登録しました。田能村直入は、幕末から明治期にかけて活躍した文人画家で、枚方宿の富裕な家に滞在し、宿泊や飲食のお礼として即興で制作した書画を残しました。今回、一括登録した4点は、江戸時代に枚方宿三矢村の庄屋・宿役人を勤めた奥田家が所有していた作品で、平成10年に市が寄贈を受けたものです。幕末から明治期の京街道沿いの裕福な町人の生活文化をうかがわせる貴重な歴史資料であることから、登録に至りました。

今回登録した書画4作品



1

1. 「親鸞上人枕石図」（安政7年：紙本墨画淡彩）
2. 「十六羅漢像」（明治4年：紙本墨画淡彩）
3. 「佛説阿彌陀經」（明治7年：紙本墨書）
4. 「仰山臨水樓囑目図」（明治7年：紙本墨画）



2



3



4

文化財の「指定」と「登録」

文化財の「指定」とは、文化財の中から特に重要なものを厳選し、許可制等の強い規制と手厚い保護を行う制度です。それに対し文化財の「登録」は、届出制と助言等を基本とした、より幅広い緩やかな保護の網をかけるものです。本市では、地域の歴史にとって欠くことのできない文化財を保護するとともに、市民の郷土への理解と愛着の増進を図るため、平成25年に市独自の登録制度を制定しました。なお、今回の登録により、枚方市登録文化財は5件となりました。

<参考>市登録文化財

名 称	種 別	登録年月日
宗左の辻の道標	有形文化財	平成26年4月1日
明治十八年洪水碑		平成26年4月1日
仁明天皇外祖母贈正一位田口氏之墓	記念物	平成26年4月1日
三之宮神社の雨乞返礼の石燈籠	民俗文化財	平成30年9月1日

田能村直入について

田能村直入は、文化11年（1814）、豊後国直入郡竹田（現：大分県竹田市）の出身で、9歳の時に文人画家の田能村竹田に師事し、詩と絵画を学びました。

天保5年（1834）、竹田とともに大坂に移った後、大塩平八郎の私塾「洗心洞」に入塾して陽明学を学び、竹田の死後は、大坂・堺や京都を拠点に文人画家として活躍して明治40年（1907）に94歳で亡くなりました。

画家としてだけではなく、明治11年に画学校の設立についての建白書を京都府に提出し、現在の京都市立芸術大学の前身である京都府画学校の初代摂理（校長）を務めたほか、明治24年には南宗画学校を設立するなど、後進の育成にも尽力し、関西の画壇に大きな足跡を残しました。

枚方市内は今でこそ田畑が少なくなりましたが、かつては多くの人たちが稲作などの農業に携わっていました。稲作には水が欠かせませんが、年によっては日照りが続き、水に困ることもありました。

江戸時代には、水不足になった年には村で雨乞い^{あまご}をしていました。その日は村全体で仕事を休み、神社に灯明^{とうみょう}をあげて雨が降るように祈りました。しかし、村の神社の雨乞いだけでは雨が降らないこともあります。そのような時、津田村では、穂谷の三之宮神社で藤坂村・杉村・尊延寺村・穂谷村と一緒に雨乞いをし、雨が降れば返礼として灯籠^{とうろう}や絵馬を奉納したり、住吉踊りをした記録が残されています。

雨乞いは昭和のころまで行われていたようで、昭和14年（1939）の雨乞いで雨が降ったことが新聞記事にもなっています。最近、津田にお住まいの方から、雨乞いの話を聞くことができました。水不足で雨が降らない時には三之宮神社へ雨乞いに行ったそうで、「三之宮のぼり」と言ったそうです。大人たちが津田の春日神社の太鼓を、肩に綱をかけて曳くカタビキという荷車にのせ、「雨たんも じゃいの ひやくに米いっとーせ」とうたいながら三之宮神社へ曳いて行く様子を覚えておられます。昭和47年に刊行された『枚方の民俗』にも、雨乞い唄がいくつか載っていて、「雨こんこん降らいね」「雨たんも おじゃいの 百に米一斗もしょ」と記憶していた人もいたようです。春日神社の鳥居横の昭和14年に建てられた「村社 春日神社」の社号標の裏面には、「雨乞御礼」と刻まれています。雨乞いの祈りが通じた時の人々の感謝の思いを今に伝えています。



春日神社の社号標

イベント
開催予定

❖ お知らせ ❖

イベント名	開催日
旧田中家鋳物民俗資料館で開催します	
① 子ども七宝講座	7/26（金）
② 簡易鋳造講座（小中学生対象）	7/27（土）
③ オバケちょうちんづくり	8/4（日）
④ 七宝講座	9/10（火）
⑤ バーナーワーク連続講座	9/11・18・25（水）
総合文化芸術センター別館で開催します	
⑥ 発掘調査報告会・市民歴史講座 「茨田堤と枚方の古墳時代」	9/7（土）
旧田中家鋳物民俗資料館・市内工場で開催します	
⑦ くらわんか鋳物ツーリズム 第1回 寿ダイカスト（株）	予定 10/14（月・祝）
中央図書館で開催します	
⑧ 古文書中級講座 （全5回）	10/7・21、 11/11・25、12/9（月）

◆『新版 楽しく学ぶ 枚方の歴史』を発売

写真や図版を多く取り入れ、市の歴史を分かりやすく解説したビジュアル版郷土読本を、今回大幅に内容を改訂。全面カラー刷、B5判 89ページ、1部 500円で販売中。

販売場所：中央図書館5階市史資料室、
市役所別館1階受付、枚方宿鍵屋資料館



◆特別史跡百済寺跡 築地塀完成記念式典 4/8（月）

長年、行なってきました特別史跡百済寺跡再整備事業の一つ、築地塀^{つちべい}が完成したことを記念し、現地で記念式典を開催しました。除幕式後、築地塀の前では看板を手にも記念撮影を行いました。この築地塀は、創建当時の工法を採用した在来工法と鉄骨を使用した現在工法で復元していますので、ぜひ違いを見に来てください。

